

4月に血管撮影装置を更新しました!!

★ 血管造影法 (angiography) とは、足の付け根や、肘・手首の動脈よりカテーテルという細い管を挿入し、血管の走行や血流状態などを診断する検査法です。この手法を用いて心筋梗塞や脳動脈瘤などの治療も行われています。当院では4月に SIEMENS 社製の最新の血管撮影装置 (右図) へと機器の更新を行いました。



新しい装置の特徴

① 被ばく低減

X線検出感度の高い平面型検出器 (FPD: フラットパネルディテクタ) を搭載するとともに、SIEMENS 社独自の技術の組み合わせにより、**大幅な被ばく低減**を実現しました。検査の内容によりませんが、以前の装置より、**50%程度の被ばく線量**での検査が可能となっています。

② 精度の高い検査・治療

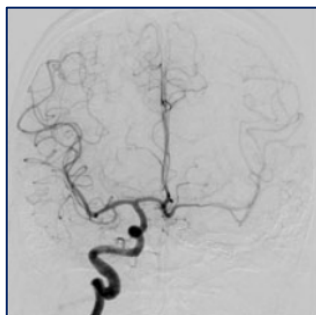
最先端の画像収集・デジタル画像処理・画像表示技術により、画質の高い画像が撮影でき、**精度の高い検査・治療**が実現しました。

③ Dyna CT (CT ライクイメージング機能)

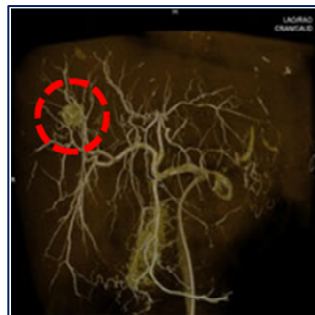
血管撮影室にしながら CT 検査のような 3D 画像を得られる機能がついています。この機能を使用し、複雑な血管の走行などを 3D 表示のもとに手技を進めることができ、検査の内容により**検査時間の短縮** (被ばくの低減) と**精度の高い検査・治療**につながります。



冠動脈造影



脳血管造影



▲ Dyna CT 肝腫瘍 (左)・脳動脈瘤 (右)



高度な手技にも対応できるよう、スタッフ一同日々トレーニングを行い、地域医療に貢献していきたいと思っております。

♪ お問い合わせ先 放射線科 ♪

♪ ご希望の方には『多摩南ミニ通信』を面会受付でお渡ししております。 ♪